



自分の可能性を広げるとともに、学部・学年・学内外などの枠を越えて、新たな「つながり」をつくりましょう！ここでは4つの「おすすめクラブ・サークル」をご紹介します。



## 版画部



学部関係なく、初心者も大歓迎です！絵心とか、関係ありません！…おっと、仲間が欲しすぎて取り乱してしまいました。失礼しました。

こんにちは。申し遅れましたが、部長の河村直樹です。版画部は週に1回のペースで版画工房にて活動しています。そのほかに、作家さんを招いての講習会や、大学祭の出店、作品の展示などのイベントも行っています。

仲間とおしゃべりをしながら制作をする人もいれば、黙々と制作する人もいて、いろいろな人がいますが仲良く活動しています。制作の分からないことを顧問の先生や先輩に聞いたり、雑談する中から自分のペースで交友関係を築けます。また、多種類の版画を刷ることができる設備が整っているので、自分に合った版画技法を選ぶことができます。手軽で簡単な技法もあります。

先にも書きましたが、厳しい部活ではないので学部や経験に関係なく入部歓迎です。もちろん本腰を入れた制作もできるので、経験者の入部もお待ちしております。

## Re.lic (リリック)

こんにちは！ Re.lic(リリック)です！ 私たちの活動の特色はGV活動(海外建築ボランティアプログラム)です。

春と夏の年2回、長期休みに東南アジアをはじめとした発展途上国にチームを派遣しています。

昨年は春にネパール、夏にインドネシアとフィリピンで活動しました。GVでは現地の人々と一緒に汗を流しながら、家を建てます。ただ旅行するだけでは分からない現地の生活、文化、貧困を肌で感じて学ぶことができます。学生のうちしかできないような経験がたくさんできます。

また、GVだけではなく、毎週木曜日のミーティングに始まり、冬合宿や夏合宿、スポーツ大会などのイベントも開催しています。学年を越えた仲の良さが特徴です！

少しでも興味があったらお気軽に遊びに来てください！ 楽しくて個性的なメンバーでお迎えします！

こんにちは。私たちは広島市立大学弓道部です。私たちは現在、毎週土曜日の午前(そのほかの曜日は自主練)、3年生6人、2年生7人、大学院生1人の計14人で和気あいあいと活動しています。普段の活動では、射や中がより良いものになるようおのおのが課題の発見・解決に取り組んでいます。また部員同士の仲が良くアットホームながらも、初心者・経験者にかかわらず、切磋琢磨し合っています。年に数回ある大会で良い成績を残すことは弓道部全体の目標です！

また、弓道部には大会以外にも合宿や大学祭、安土整備といった、いくつかのイベントがあります。中でも合宿は弓道漬けの2泊3日で、夜にはレクリエーションもあるので、部員同士の仲がすごく深まります。

部の運営や個人の射について悩むことはありますが、部全体で協力し合って楽しく充実した活動をしています。Twitter (@ichidai9dobo) や Instagram (@ichidai9dobo) でも情報を発信しているので、気になる人はぜひフォローしてください！

## CLUBS & CIRCLES

広島市立大学の公認クラブ・サークルの活動内容は多種多様で、定番のクラブ・サークルに加えて、ボランティア活動、平和活動、そして創作活動など、ユニークな活動を行う団体があります。

## ワンダーフォーゲル部



ワンダーフォーゲル部は、山を登って自然を楽しむ体育系クラブです。普段の集まりでは、山に関する知識を身に付けるために勉強会を行っています。毎月、広島近郊へ日帰り登山をします。そして、夏休みや春休みなどの長期休暇には縦走登山をするため、九州や日本アルプスなどの山へ行きます。

今活動している部員はわずか5人ですが、広島大学と安田女子大学のワンダーフォーゲル部と合同で登山するなど、他大学との交流も積極的にしています。

コロナウイルス流行の中、3密空間について心配しているあなた！ 私たちとキレイな自然に出て、他大学の学生との触れ合いのチャンスを掴んで、体を鍛えてみるのはいかがでしょうか！

## 弓道部



芸術学部 Faculty of Arts

## あらゆるものが自分の力に

芸術学部デザイン工芸学科1年 高橋 みづほ

何事にも、好奇心を持ってください！ ……といっても、芸術学部を目指す皆さんにはもともと好奇心旺盛な方が多い印象なので今更でしょうか。実技試験において大切なのは、たくさんのアイデアを自分の中に取り込んでおくこと。そして練習でも本番でも制作を楽しむことです。

参考作品をたくさん見て、さまざまなやり方を試してください。普段とは全く違うアプローチで制作してみるのも、新しい発見があって面白いと思いますよ。トライ・アンド・エラーを繰り返して、自分に合うやり方をじっくり研究してください。それから、モチーフは興味を持って観察すること。きれいだと思った色、面白いと感じた構造など、自分が心を惹かれたところを大事にしてください。あなたが楽しんで描いた部分は、他の人から見ても印象的に映るものです。試験だということにとらわれず、楽しんで制作ができたらいいいですね。

受験当日はとも緊張します。もしかしたら頭が真っ白になってしまうかもしれません。ですが、今まで自分が積み上げてきたものは絶対に無駄にはなりません！ 一回一回の練習を大切に、自分自身を深めていくような気持ちで取り組んでほしいと思います。応援しています！



情報科学部 Faculty of Information Sciences

## 理想の未来を思い描く

情報科学部情報工学科2年 増田 志帆

私は、将来の夢に生かせようと思う、広島市立大学情報科学部を志望しました。受験生の頃は、受験や大学生活にとても不安を抱いていました。しかし受験を乗り越えて1年が経った今、この大学に入ってよかったと思っています。

まず、この学部の良い点は学科分けが2年次で行われることです。1年間学んで、本当に自分の興味のある学科を選ぶことができます。

また、他学部の科目を受けることができるため視野が広がります。情報科学について基礎からしっかり学べるだけでなく、他学部の授業も受けることで幅広い知識を身に付けることができます。

そして何より、大学生活がとても楽しいです！ 授業で助け合ったりすることで同学部の友達と仲がよくなりました、サークルやクラブ活動で他学部の友達ができたり、とても充実した毎日を送っています。

コロナのこともあり、受験生の皆さんは多くの不安を抱えていると思います。こんな時だからこそ、今まで習ってきたことをしっかり復習したり、苦手を一つずつ無くしていったり、今できることを最大限にがんばってほしいです。努力は必ず自分自身の成長につながります。皆さんが、悔いなく楽しい大学生活を送れるよう祈っています！



## 市大を志望する皆さんへ ~在学生からのメッセージ~

市大に入学したい!という夢を実現した先輩たちから受験生の皆さんへ、自らの体験をもとに、受験勉強での心構えや応援メッセージなどを書いてもらいました。ぜひ、参考にしてみてください。



国際学部 Faculty of International Studies

## あなたの道

国際学部国際学科1年 やまなか けあき 山中 景暁

私は中学生のときから少年少女国連大使というプログラムで活動をしていたことも影響し、多文化共生について漠然と関心がありました。しかし好奇心旺盛だったこともあり、ジェンダー論や政治、宗教など学びたいことが幅広く、具体的にどういう学部を選べばいいかも分からずずっと悩んでいました。そんなときに、担任の先生から広島市立大学を提案されて、興味があった多文化共生についてより多様な視点を得られることに加え、広島という街ならではの目線で平和や国際社会について学べることに心を惹かれ受験を決めました。

まだキャンパス生活を送ることはできていませんが、今後は、大学が提供する貴重なチャンスを生かして主体的に活動していきたいと思っています。

皆さんの中には、私のように志望校や自分の将来の夢が決まらず、不安になっている人もいます。既に目標を定めている友人を見て焦りを感じてしまいかもしれません。でもきっと大丈夫です。どれだけ悩んで立ち止まってしまっても、あなたの周りにはあなたを支えてくれる人がいます。「あなたが決めた道が、あなたの道になる。」これは進路に悩んでいた私を支えてくださった先生の言葉です。皆さんもあなただけの道を見つけてください。



2019年度 芸術学部デザイン工芸学科 卒業  
小田 普音  
「THE-MOB」(アニメーション映像)  
(7分00秒)  
2019年度 卒業制作  
優秀賞 / 芸術資料館賞上作品

3つのひかり 未来をつくる  
広島市立大学  
Hiroshima City University

丁寧に  
一人ひとりを大事に  
社会との関わりの中で  
学生を育てます

## 活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

## 市大で得られるさまざまな経験

「市大で得られるさまざまな経験」

本学情報科学部を卒業後、情報科学研究科へ進学し、広島市の新型コロナウイルス感染症対策サイトの作成にも携わった多々納さんに、学部生の頃のことや、大学院進学を決め手などについてお話を伺いました。

一市大を志望した理由を教えてください。高校1年生でオープンキャンパスに参加した際に、学生が作成したロボットやセロ口的アプリケーションが印象的で情報科学部を意識するようになりました。もともと小さい頃からゲームやパソコン、機械が好きでした。情報分野では「人工知能」や「インターネット」など知っている単語や身近にある技術についての話が多いため、勉強して専門知識を身に付けるなら情報系の大学を志望しようと考えました。市大では、入ってから細かなコース選択を行うことができます。専門分野を徐々に決められることができるため、将来について明確な目標を持っていなかった自分にとっては魅力的でした。後は単純に実家から通える情報系公立大学ということで市大を志望しました。

一学部生時代にはどのようなことを学びましたか。

学部1～2年は基礎的なことを中心に学びました。プログラミングや解析・線形・離散数学、アルゴリズムなど、とても大変でした。3年次からは学科別の実験があり、実際にプログラムを作成しロボットカーを動かして、誰のロボットがうまくコースを走れるかなどコンテストを行いました。プログラミングやネットワークの最適化、データ分析などを行う上では必要な知識であり、論文を読んだ際に理解できる単語の数も変わってきます。

一学生生活の中で印象に残っていることはありますか。

印象に残っていることは、卒業研究と最近取り組んだ広島市の新型コロナウイルス感染症対策サイトの構築です。卒業研究は学部生が卒業するために取り組まなければならないものですが、研究が思うように進まずに悩むことがたびたびありました。しかし、指導教員、研究室のメンバーやOB、他大学の先生方の協力もあり、研究を進めて評価を行い、論文を書き上げて発表することができました。大変でしたが自分の能力が向上していることを実感できて、印象に残りました。広島市の新型コロナウイルス感染症対策サイトは、前田香織教授から東京都が公開している新型コロナウイルス感染症対策サイトを広島市でも構築できないかとお声掛けしていただいたものです。自分にできることがあるならと思い、広島市の職員の方と協力して取り組みました。初めて外部の方と意見交換をしながらのサイト構築で責任感や達成できるのか不安でかなり緊張しましたが、多くの方の協力をいただき公開することができました。構築したサイトが市民のために役に立っていると思うと、達成感が大きかったです。また、このサイト構築では、学部4年間と卒業研究で身に付けた知識をフル活用して頑張りました。もし卒業研究を進める前に、このお話があったら、サイトは構築できなかったと思います。それほど卒業研究前後で知識や情報を蓄積する力が付いたと思います。

【広島市 新型コロナウイルス感染症対策サイト】

<https://stopcovid19-hiroshima-city.hiroshima-cu.ac.jp/>

情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻1年 多々納 啓人さん

一大学院への進学はどのような経緯で決めたのでしょうか。研究室の先輩方の影響が大きいです。3年次の時に研究室に参加しましたが、その時には就職・進学半々ぐらいで悩んでいました。悩んでいた理由というのも、2年間大学院で自分の研究や勉強を進めるよりも、就職して実務経験を積んでいた方が自分の能力が上がると考えていたからです。しかし、大学院の先輩方のサーバ保守・整備や学外発表、研究姿勢を見ていると、大学院での2年間で自分のやりたい研究を進め、知識をより多く吸収してから就職しても遅くはなく、大学院で2年間頑張ったときに身に付く経験は、社会に出てからも大いに役に立つと考えました。せっかく大学院という環境で学ぶ機会があります。就職してから入り直すことも可能ですが、タイミングが合わなければ難しいと思います。今しかできないことを考えたときに、大学院進学を決めました。

一大学生生活の過ごし方でアドバイスはありますか。勉強が得意な方ではないため勉強面でのアドバイスはできませんが、私は大学4年間で図書館をかなり利用しました。大学の図書館は無料で本を借りることができます。ブックハンティングという取り組みは、他の人が興味を持った本を図書館が購入して、貸し出しをしてくれます。普段は本を選ぶときに自分が興味のある本を借りますが、他の人が興味のある本を借りると、たいてい新しい知識の発見があります。私はそれが好きで、よくそのコーナーの本を借りています。大学生はこれまでよりも自由に使える時間が多くなります。自分の好きなことのために時間を使うのも大切ですが、新しい発見のために時間を費やしてみるのも面白いのではないのでしょうか。

一最後に後輩たちへメッセージをお願いします。高校生や大学に入学してすぐのタイミングでは将来について明確な目標ややりたい職業が自分でも分からない、決まっていなという人も多くいると思います。私はこの市大を好きな分野というだけで選択しましたが、学んでいくモチベーションを保つためにはやりたい職業や目標、理想が大切だと考えています。目標を決めると達成のために必要な技能や知識がどんなものか、興味ですが分かってきます。私もまだ働いたことがないので偉そうなことは言えませんが、企業のインターンシップへの参加や、研究室に入っていない学生であればオープンラボやオープンキャンパスで興味のある研究室を訪れてみるなど、新しいことを積極的に体験することを、目標や将来の夢を見つめることができます。



多々納 啓人 (たの・よしひと) 広島市立大学情報科学研究科(博士前期課程)情報工学専攻1年。

## 写真でみる市大ライフ

本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」(学内限定)を開設しています。第9回となる今回は、「市大ベストショット」をテーマに写真を募集しました。このサイトに投稿された作品の中から、最優秀賞および優秀賞を決定しています。今回は残念ながら最優秀賞は該当がありませんでしたが、以下のとおり優秀賞を決定しました。

### 《優秀賞》



①影と光

### 《優秀賞》



②夜はこれから

《作品番号 / 投稿者》  
①大見弥功(国際学部国際学科2年)  
②西本夏野(情報科学部1年)

※第10回は「市大キャンパスライフ」をテーマに画像投稿を募集しています。たくさんの投稿をお待ちしております。

## 学生レポート

この記事は、「学生広報ポーター」に登録している市大生自らが取材をして執筆しました。

## オンライン授業でつながる「市大の輪」

国際学部国際学科3年 和名谷 栞耶

オンライン授業に対して世の中に賛否の声が上がっていますが、私は非常に肯定的に捉えています。それはオンライン授業を通して「人の輪」を感じられたためです。私はオンライン授業中に、自分の声が相手に聞こえにくいというトラブルが起こり、授業を円滑に進めにくい状況に陥りました。何しろ初めてのオンライン形式の授業に戸惑いもあり、自身の音声トラブルが授業の足手まといになるのではと憂慮していました。しかし、先生方は状況に配慮した授業の参加方法を提案してくださったり、授業が受けやすいようにとマイクを貸与してくださりました。また、学部の仲間は、ディスカッションの際に、トラブルで発言が滞ってしまったり先生方との橋渡し役を買って出してくれるなど、助け舟を出してくれました。困っている人には自然と支援の手が差し伸べられる。広島市立大学はそんな人と人のつながりが強い大学です。これは国際学部の教育方針の一つである少数人数教育によるものだと思います。新型コロナウイルスの流行に伴って、人との距離を保つことが求められる今日、人と人の心理的な距離も生じているように思います。このような状況下で、対面を伴わずとも感じられた人との「密」なつながりが心が温まりました。

加えて、市大の授業は意見交換の場が豊富に設けられています。それはオンライン授業においても同様です。通常の対面型とは異なり、ディスカッショングループがランダムに編成されるため、他学年の学生や留学生とも討論する機会が増えました。このような状況においても交流の機会が増え、「人の輪」が広がること。これこそが市大のオンライン授業の魅力なのではないのでしょうか。



オンライン授業の様子

## 留学体験記

本学では海外学術交流協定大学との活発な交流・学生交換留学を推進しています。

ドイツ・アラヌス大学 (海外学術交流協定大学への派遣留学)

### 所変われば自分も変わる

芸術学研究科(博士後期課程)総合造形芸術専攻3年 大島 愛

私は人生で留学なんてするとは全く思っていなかったのですが、先生に勧められて、怖いよ～とおびえながら留学しました。結果、そんな私でも本当に行って良かったと心底思いました。

私が留学したアラヌス大学は自然豊かな山の中にあり、とてもどこかでものんびり親切で、落ち着いた制作できる大学です。ボン、ケルン、デュッセルドルフなど文化的な街も近く、たくさん展覧会を観ることができ、生活もしやすいです。

私はもともと人物をモチーフにしているので、留学先の先生や友達をモデルに絵を描き、何回か展示もできました。作品は好評で、地元の「ボン新聞」の卒業展記事に、私を代表として写真を掲載していただきました。皆さんリアクションが大きく、学生の展覧会にもたくさんが集まるほど文化的で、日本よりもよりダイレクトに美術のやりがいを感じました。

私のクラスは特に留学生が多く、ドイツへ留学したにもかかわらず、アジアや南米などいろいろな国の文化や現状も知ることができました。私はほぼ中学レベルのカタカナ英語しか話せませんが、それでも仲良くなればなぜか楽しくいろいろな話ができてしまいました。

また、近隣の国にも安く気軽に旅行できました。美術の名作を観ることはもちろん大きな刺激になりましたが、それに加えて、さまざまな文化の違いを肌身を感じることで、色々なことに対して「なぜこうなったのか」を環境や歴史に基づいて考える癖ができました。のんきな私でも歴史や政治について自然に興味を持つようになるほど、留学は視野や視座に大きな変化を与えてくれます。



一緒に展示した中国人留学生と教授と(中央が大島さん)

中国・上海大学 (海外学術交流協定大学への派遣留学)

### 友人の饞別の言葉が今も心の中で生き続ける理由

国際学部国際学科4年 藤本 真穂

留学ビザの期限が刻々と迫り上海で過ごす最後の日、韓国人の友人から笑顔で饞別の言葉をもらいました。「今お互いの国交は戦後最悪だけど私たちの仲はこれからも最高でありたい。絶対にまた会おうね!」

帰国して5日後に日中学生会議に参加し、国境を越え互いが本気で討論しながら2週間の共同生活を送りました。期間中、時にはセンシティブな内容を扱うこともありましたが「目の前にいるのは敵ではなく、日中友好の懸け橋となる仲間」であると自分に言い聞かせました。会議の最後に笑顔で中国人学生を見送れたのは、紛れもなく上海での言葉を伝えてくれた彼女のお陰です。

もし私が留学に行っていなければ、昨年の日韓関係悪化など中韓に関するニュースを見て、韓国や中国に対して偏見を持っていたと思います。しかし、現地で出会った人たちの優しさや温かさを思い出すと、互いに国籍問わず一人の人間として接していました。海外にいると自分のアイデンティティを強く意識し排他的になりがちですが、憎しみからは虚しさや自分の至らなさが残りません。

平和とは大きく漠然とした課題のように思っていたが、広島市で平和について学ぶ一学生として、この経験を経て私個人が貢献できる平和とは「大切な人たちとの間に小さな信頼を積み重ねていくこと」だと捉えています。

今年は広島に原爆が投下されてから75年の年です。いつか国家間が恨み合うような未来が訪れたとしても、これまで出会った世界の仲間の一人一人を信じ、手を取り合えるような関係で、平和の草の根活動を続けたいと強く思います。



セメスター最後の記念撮影(1列目左から2番目が藤本さん)

👉おめでとございます

■情報科学研究科の学生が第21回IEEE広島支部学生シンポジウムで受賞  
2019年11月、情報科学研究科(博士前期課程)2年の井原みのりさんがHISS最優秀プレゼンテーション賞を受賞。

■情報科学研究科の学生が2019 IEEE 11th International Workshop on Computational Intelligence and Applications (IWCI A2019)で受賞  
2019年11月、情報科学研究科(博士前期課程)2年の橋田修一さんが発表した論文が、「IEEE SMC Hiroshima Chapter Best Presentation Award」を受賞(授賞式は2020年2月)。

■芸術学研究科の学生らが清風会 芸術奨励賞を受賞  
2019年12月、芸術学研究科(博士後期課程)1年の明壁美幸さん、芸術学研究科(博士前期課程)2年の古賀雅菜さん、芸術学部デザイン工芸学科4年の門前佑奈さんが清風会芸術奨励賞を受賞。

■芸術学研究科の学生が第38回上野の森美術館大賞展で入選  
2020年3月、芸術学研究科(博士前期課程)1年の吉村織那さんが入選。

■情報科学部研究科の学生が2019年度電気・情報関連学会中国支部連合大会で受賞  
2020年2月、情報科学研究科(博士前期課程)2年の濱田尚睦さんが、中国支部奨励賞を受賞。

■芸術学研究科の学生が広島赤十字・原爆病院賞の表彰式を実施  
2020年3月、芸術学研究科(博士前期課程)2年松岡円香さんが広島赤十字・原爆病院賞を受賞。

■芸術学部の学生が第63回日本伝統工芸中国支部展で入選  
2020年3月、芸術学部デザイン工芸学科2年の栗根誠一郎さんが入選。

※学年は受賞当時

## 市大ニュース

■市大生チャレンジ事業の実施報告会を開催

2020年2月、2019年度市大生チャレンジ事業の実施報告会が開催され、各プロジェクトについて学生が報告を行いました。来場した教職員たちを前に、活動内容、成果、そして今後の課題などパワーポイントを用いて発表しました。

■広島県科学セミナーを開催

2020年2月、広島県科学セミナーが開催され、広島県内の高校生が1年間の科学探究活動の成果を発表しました。今回は252名の高校生が参加し、79件のポスター発表が行われ、本学からは情報科学研究科の教員14名が審査員・指導助言者として参加しました。

■安佐南区役所で展示の芸術作品を入れ替え

2020年3月、あさみなみ芸術化構想の一環として広島市安佐南区役所に展示している、本学芸術学部学生と卒業生の作品

の入れ替えを行いました。2021年3月まで展示予定ですので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

■タイ国立シラバコーン大学でのワークショップに参加  
2020年2月、タイのバンコクにあるタイ国立シラバコーン大学で開催されたタイ文化のワークショップに、本学の学生3名が参加しました。

■中国・西南大学からマスク1,000枚が本学へ寄贈  
新型コロナウイルス感染症が深刻化し世界的にマスクが不足する中、本学の海外学術交流協定校である西南大学(中国重慶市)からマスクが寄贈されました。(マスク1,000枚は、4月14日に広島市立大学に到着しました。)

■オンライン・オープンキャンパス2020のお知らせ  
8月20日(木)から【オンライン・オープンキャンパス2020】STEP2「知ろういちだいいちだいいりサーチ」を配信予定です。お問い合わせ先:  
広島市立大学アドミッションセンター(企画グループ)  
電話: 082-830-1666  
E-mail: kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp

## この本 ～教員の著書紹介～

国際学部 山口えり 准教授

「古代国家の祈雨儀礼と災害認識」

2020年2月、塙書房

芸術学部 城井文 講師

「オリンピックせんしゅにちがたりないな」

2020年4月、金の星社

## 2020年度 学年暦(後期)

後期(10月1日～3月31日)	
10月1日(木)	後期授業開始、秋季入学式
10月1日(木)～14日(水)	後期履修手続期間
10月24日(土)・25日(日)	大学祭
11月6日(金)～11月9日(日)	補講週
11月20日(金)～11月26日(木)	第3ターム試験期間
11月23日(月・勤労感謝の日)	月曜日の授業、試験実施
11月27日(金)	防火・防災訓練の日
12月22日(火)～1月3日(日)	冬季休業
1月15日(金)	大学入学共通テスト準備
1月18日(月)～1月29日(金)	補講週
2月1日(月)～2月10日(水)	学定期末試験
2月11日(木)～3月31日(水)	学年末休業
3月23日(火)	春季卒業式

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる可能性があります。

## 「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 広報委員会  
○E-mail:kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp  
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656  
WEST BREEZEのバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学広報」>「広報誌「WEST BREEZE」」に掲載しています。

広報誌名

広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西尾新部にちなんで命名されました。

編集・発行 / 広島市立大学 広報委員会  
発行日 / 2020年8月1日